

『ガレキとラジオ』は、自分たちが一番に行いたかった映画を通じた東北支援活動に戻りたいと思います。

まずは、出演者の皆様をはじめ、上映会主催者のみなさま、スタッフ、そして、この映画を応援してくださっていた多くの方々に、大変なご心配をおかけしてしまいました。心よりお詫びいたします。

本作は、3月5日の新聞報道以来、その大きな波紋の中で、上映中止のやむなきに至りました。しかし、出演して下さったおばあちゃんは、とてもこの映画を愛し、大事に思ってくださいました。そして、真意とかけ離れた報道を悲しまれ、映画の再上映を強く望んでくださいました。

わたくしたちは、震災から三年を経た現在の出演者の姿を伝える必要を感じ、新たにインタビュー撮影を行いました。撮影には、おばあちゃんも進んで参加してくださり、あたたかい時間を共に過ごすことができました。ある南三陸町の方から「もう三年ではなく、まだ三年です。映画で応援してください。」という言葉頂きました。その言葉を胸に、微力ながら、再び被災地に寄り添えればと思います。

最後に、報道後の厳しい風のなか、出演者の皆さま、南三陸町の皆さま、上映会を主催された皆さま、映画を観て下さった皆さまが次々に立ち上がり、たくさんの声をあげ、応援してくださいました。お力添えを頂かなければ、この映画は再び立ちあがることはできませんでした。心からお礼申し上げます。

2014年9月29日

監督 梅村太郎